

臨時農業生産情報

(雷と突風及びひょうに対する技術対策)

令和3年11月2日

青森県「攻めの農林水産業」推進本部

青森地方気象台発表(2021年11月02日05時40分)「雷と突風及びひょうに関する青森県気象情報 第2号」によると、青森県では、2日夜遅くにかけて、大気の状態が非常に不安定となる見込みです。竜巻などの激しい突風や落雷、ひょう、急な強い雨が予想されるので、今後の気象情報に十分注意し、次の点に留意して、被害の未然防止と軽減に努めてください。

1 りんご等果樹

- (1) 樹が倒伏した場合は、根を切らないよう注意しながらできるだけ早く起こし、支柱で支える。
- (2) ぶどう等の垣根、支柱等が倒れた場合は、速やかに補修する。
- (3) ひょうの被害果については、損傷程度に応じて区分し、程度の軽いものは生食向けとし、それ以外の裂果等があるものは加工向けとする。

2 野菜・花き・畑作

- (1) ビニールハウスでは、倒壊したり被覆資材が飛散しないよう施設の点検、補修を行うとともに、マイカ線や支柱などで補強する。
- (2) 露地野菜のマルチ資材は、飛散しないよう土等でしっかり固定する。
- (3) にんにくのマルチ資材が剥がれた場合は、早めに補修する。
- (4) ほ場や施設周辺にある排水溝の点検や整備などの排水対策を行うほか、施設への雨水流入を防ぐために土のうを設置する。

3 畜産

- (1) 畜舎に雨水が流入した場合に備え、早めに除ふん作業を済ませ、紙袋の飼料等は浸水しない場所に移動する。
- (2) ロールベールサイレージは、ストレッチフィルムの破損を防ぐため、ブルーシート等で覆う。
- (3) 畜舎等は、破損を防ぐため、支柱等で補強するとともに、シャッターや窓などを完全に閉める。
- (4) 畜舎が浸水した場合は、家畜伝染病の発生を予防するため、消毒を徹底する。
- (5) ロールベールサイレージのストレッチフィルムが破損した場合は、破損部分を速やかに補修するとともに、できるだけ早く家畜に給与する。
- (6) 浸水等の被害を受けた飼料は、品質を見極め、十分注意して給与する。
- (7) 倒伏した飼料用とうもろこしで、今後の回復が見込めない場合は速やかに収穫・調製する。



報道機関用提供資料	
担当課 担当者	(りんご等果樹) りんご果樹課生産振興グループ GM 磯辺 慶 (野菜・花き) 農産園芸課野菜・花き振興グループ【発行元】 GM 木下 均 (畑作) 農産園芸課稲作・畑作振興グループ GM 腰巡 好之 (畜産) 畜産課経営支援グループ GM 山田 健司
電話番号	(りんご等果樹) 直通 017-734-9492、内線 5092 (野菜・花き) 直通 017-734-9481、内線 5076 (畑作) 直通 017-734-9480、内線 5073 (畜産) 直通 017-734-9496、内線 4814
報道監	農林水産部 次長 石澤 雅史(内線:4966) 次長(農商工連携推進監) 近藤 幹三(内線:4967)

【おしらせ】

青森県では、臨時農業生産情報をパソコンやスマートフォンにメール配信するサービスを実施しています。青森県農業情報のホームページ「アップルネット」からお申し込み下さい。

**県民の皆さまへのお願い
新型コロナウイルス感染拡大防止**



<https://www.pref.aomori.lg.jp/koho/covid19kakudaiboushi.html>